令和元年度事業計画

《令和元年度の方針》

今年度も、交通の拠点としての「港」から、今治市民が活躍し、創造し、発信する拠点としての「港」への転換を図ることで、今治港を「交流」の港へとしていくことを推進します。

はーばりーを起点とした賑わいの仲間づくりを強化することで、中心市街地を回遊する機会をつくり、交流人口を増やしていきます。

今治スケートボード協会、いまばり音楽横丁、今治青年会議所、商店街協同組合など様々な団体、民間事業者が、中心市街地で活躍し発信するプラットフォームそしてスタートアップ機能を強化します。

今年度の新たな取り組みとして自転車の街“今治”に寄与できる恒常的な取り組みを始めます。

《事業計画》

〇海洋資源・地域資源を活用した事業

今治海 kids 倶楽部～海と日本 2019～

港・海にある財産（さまざまな事業者）と子どもさんらの体験を掛け合わすことで、子どもさんらに仕事を知って楽しんでもらいます。体験から経験へ移行し事業者は後継者、人材確保。そして当団体はみなとの賑わいづくりの仲間づくり。といった三方よしの事業を考えております。

分かりやすくいうとキッザニアの港・海バージョンです。

〇観光振興・地域振興を図るための事業

瀬戸内走行会　～海の周りをぶるっと～

新しくなった港にて、年々サイクリストの利用が増えております。平成 30 年度の今治港サイクリストの動向調査にて分かった広域連携（しまなみ―とびしまーさざなみ　総距離約 180ｋｍ）となる新しいルートをサイクリストにひろく紹介します。

今治市を起終点とすることで、サイクリストの宿泊者を増やします。そして船を利用していただくことにより、今治港の賑わいを創造します。